第４章　健康状態と福祉制度

１　健康状態

表２３は現在の身体の具合を尋ねた結果である。具合の悪いところがあると回答した者は1,025人（47.4%)、「いいえ」と回答した者は1,115人（51.5%）となっている。回答者の半数近くがどこか身体の具合が悪いと感じている。

また、「ある」と回答した者のうち、「通院」、「売薬」などで対処している者が324人（31.6%）と約3割程度にとどまっており、何もしていない者が701人（68.4%）で約7割近くに達している。

表２３　問２３　現在、どこか身体の具合の悪いところはありますか。

	人数	%	有効%
はい			
通院	202	9.3	19.7
売薬	122	5.6	11.9
何もしていない	701	32.4	68.4
有効回答数	1,025	47.4	100.0
はい（無回答）	22	1.0	
いいえ	1,115	51.5	
無回答	1	0.0	
合計	2,163	100.0	

次に、病気や障害などについて、具体的な内容を複数回答で尋ねたものが表２４である。

多い順に「高血圧」256人（12.0%)、「胃・十二指腸潰瘍」153人（7.2%)、「ヘルニア」138人（6.5%）となっている。一方、「病気はない」と回答した者は865人（40.5%）と4割、「病気がどうか分からない」と回答した者は160人（7.5%）となっている。

表２４　問２４　現在、どのような持病や障害がありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

（複数回答）	件数	回答%	ケース%
高血圧	256	9.7	12.0
胃・十二指腸潰瘍	153	5.8	7.2
糖尿病	126	4.8	5.9
肝炎	74	2.8	3.5
ヘルニア	138	5.2	6.5
皮膚の病気	41	1.6	1.9
アルコール依存症	51	1.9	2.4

結核	18	0.7	0.8
身体障害	64	2.4	3.0
その他	699	26.4	32.7
病気はない	865	32.7	40.5
病気かどうか分からない	160	6.0	7.5
有効回答数	2,645	100.0	123.9
有効回答者数	2,135	98.7	
無回答	28	1.3	
合計	2,163	100.0	

※回答％は有効回答数に占める割合、ケース％は有効回答者数に占める割合

また、具体的な自覚症状についてまとめたものが表２５である。多い順に見ていくと、「なし」676 人（31.4%）で最も多いが、次に「腰痛」508 人（23.6%）が多い。

表２５　問２５　路上（野宿）生活している間（路上（野宿）生活の長い方はここ１年以内）で、次のような症状がありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

（複数回答）	件数	回答％	ケース％
めまい	329	7.3	15.3
しびれ・麻痺	338	7.5	15.7
咳がつづく	242	5.3	11.2
微熱がつづく	85	1.9	3.9
ひどい下痢が続いた・激しい腹痛	167	3.7	7.8
皮膚のかゆみや発疹	170	3.8	7.9
目やにが出る・目がかすむ	236	5.2	11.0
食欲不振	80	1.8	3.7
急激にやせた	112	2.5	5.2
ひどくだるい	188	4.2	8.7
耳鳴りがひどい	156	3.4	7.2
吐き気・嘔吐・胃の痛み	183	4.0	8.5
むくみ	104	2.3	4.8
頭痛	183	4.0	8.5
腰痛	508	11.2	23.6
よく眠れない	318	7.0	14.8

その他	452	10.0	21.0
なし	676	14.9	31.4
有効回答数	4,527	100.0	210.3
有効回答者	2,153	99.5	
無回答	10	0.5	
合計	2,163	100.0	

※回答％は有効回答数に占める割合、ケース％は有効回答者数に占める割合

次に、障害者手帳や療育手帳などの各種福祉手帳の所持状況を尋ねた結果が表２６である。「今持っている」が 43 人（2.0%)、「以前持っていたがなくした」19 人（0.9%)、「障害はあるが持っていない」135 人（6.3%)、「障害はないので持っていない」1,956 人（90.8%）となっている。

表２６　問２６　現在何らかの障害を抱えていますか。また障害を抱えている場合、障害者手帳や療育手帳（愛の手帳）などをもっていますか。

	人数	%	有効%
今持っている	43	2.0	2.0
以前持っていたがなくした	19	0.9	0.9
障害はあるがもっていない	135	6.2	6.3
障害はないので持っていない	1,956	90.4	90.8
有効回答数	2,153	99.5	100.0
無回答	10	0.5	
合計	2,163	100.0	

２　福祉制度の利用状況

路上（野宿）生活前又は路上（野宿）生活中に福祉事務所へ相談に行ったことの有無を尋ねた結果が表２７である。「ある」と回答した者が 714 人（33.1%)、「ない」と回答した者が 1,446 人（66.9%）となっている。

表２７　問２７　路上（野宿）生活以前又は路上（野宿）生活中に福祉事務所へ相談に行ったことがありますか。

	人数	%	有効%
ある	714	33.0	33.1
ない	1,446	66.9	66.9
有効回答数	2,160	99.9	100.0
無回答	3	0.1	

合計	2,163	100.0	

「ある」と回答した者の相談結果については表２７－２でまとめている。「相談のみで終わった」が 220 人（32.3%)、「病院を紹介された、病院で受診した」が 157 人（23.1%）となっている。

表２７－２　問２７　路上（野宿）生活以前又は路上（野宿）生活中に福祉事務所へ相談に行ったことがありますか。(「ある」と回答した者の相談結果)

項目	人数	%	有効%
病院を紹介された、病院で受診した	157	22.0	23.1
病院へ入院	55	7.7	8.1
施設入所	76	10.6	11.2
食事、交通費等をもらった	87	12.2	12.8
生活保護を受けた（主に居宅保護）	47	6.6	6.9
相談のみで終わった	220	30.8	32.3
その他	39	5.5	5.7
有効回答数	681	95.4	100.0
無回答	33	4.6	
合計	714	100.0	

また、「ない」と回答した者のうち、今後、相談に行く意思はあるかを尋ねたものが表２７－３である。回答者のうち、今後、相談に行く意思のある者は、237 人（19.6%）となっている。

表２７－３　問２７　路上（野宿）生活以前又は路上（野宿）生活中に福祉事務所へ相談に行ったことがありますか。(「ない」と回答した者の、今後、相談に行く意思の有無)

	人数	%	有効%
ある	236	16.3	19.5
なし	788	54.5	65.3
今はないが、状況によって行く場合もある	183	12.7	15.2
有効回答数	1,207	83.5	100.0
無回答	239	16.5	
合計	1,446	100.0	

次に、緊急的な一時宿泊場所であるシェルターの利用希望について尋ねたものが表２８である。「思う」と回答した者が 831 人（38.7%)、「思わない」が 1,315 人（61.3%）となっている。

また、「思わない」と回答した者の理由を類型化して、まとめたものが表２８－２である。

この中で「他人に干渉されたくないから」と回答した者が 427 人（34.6%）と最も多い。

表２８　問２８　緊急的な一時宿泊所としてシェルターがありますが、今後利用したいと思いますか。

	人数	%	有効%
思う	831	38.4	38.7
思わない	1,315	60.8	61.3
有効回答数	2,146	99.2	100.0
無回答	17	0.8	
合計	2,163	100.0	

表２８－２　問２８　緊急的な一時宿泊所としてシェルターがありますが、今後利用したいと思いますか。（[思わない］理由の内訳）

	人数	%	有効%
今の寝場所・私物が失われるから	17	1.3	1.4
今の生活形態が失われるから	52	4.0	4.2
プライバシーが確保されていないから	33	2.5	2.7
他人に干渉されたくないから	427	32.5	34.6
寝場所はあるから、他からの援助は必要ないから	153	11.6	12.4
就労できる見込みがないから	20	1.5	1.6
期間が短いから	73	5.6	5.9
ない・わからない	94	7.1	7.6
その他	364	27.7	29.5
有効回答数	1,233	93.8	100.0
無回答	82	6.2	
合計	1,315	100.0	

自立支援センターの利用希望を尋ねたものが表２９である。「思う」と回答した者が 835 人（38.9%）、「思わない」が 1,310 人（61.1%）となっている。

また、「思わない」と回答した者の理由を類型化して、まとめたものが表２９－２である。

「他人に干渉されたくないから」と回答した者が 294 人（24.1%）と最も多い。

表２９　問２９　一定期間入所して、食事、健康管理、生活相談や職業相談を受け、就労による自立をするための施設（自立支援センター）がありますが、今後利用したいと思いますか。

	人数	%	有効%
思う	835	38.6	38.9

思わない	1,310	60.6	61.1
有効回答数	2,145	99.2	100.0
無回答	18	0.8	
合計	2,163	100.0	

表２９－２　問２９　「思わない」理由

	人数	%	有効%
今の寝場所・私物が失われるから	4	0.3	0.3
今の生活形態が失われるから	55	4.2	4.5
プライバシーが確保されていないから	16	1.2	1.3
他人に干渉されたくないから	294	22.4	24.1
他からの援助は必要ないから	208	15.9	17.1
就労できる見込みがないから	247	18.9	20.3
期間が短いから	37	2.8	3.0
ない・わからない	94	7.2	7.7
その他	265	20.2	21.7
有効回答数	1,220	93.1	100.0
無回答	90	6.9	
合計	1,310	100.0	

次に、生活保護制度の利用状況を尋ねたものが表３０である。「ある」と回答した者が 528 人（24.5%）と、過去に生活保護制度を利用していたが、現在、路上生活をしている者がいる。また、「相談に行ったが利用したことがない」が 95 人（4.4%）となっている。

表３０　問３０　これまで生活保護制度を利用したことがありますか。

	人数	%	有効%
ある	528	24.4	24.5
相談には行ったが利用したことがない	95	4.4	4.4
ない	1,535	71.0	71.1
有効回答数	2,158	99.8	100.0
無回答	5	0.2	
合計	2,163	100.0	

また、前設問で生活保護制度を利用したことがあると回答した者の利用方法を尋ねたものが表３１である。「病院に入院」が 287 人（54.6%）と最も多く、全体の 5 割近くを占めている。

表３１　問３１　問３０で「ある」と答えた方の利用の方法は次のどれでしたか。あてはまる

ものをすべて選んで下さい。

（複数回答）	件数	回答％	ケース％
病院に入院して生活保護を受けた	287	47.8	54.6
施設に入って生活保護を受けた	111	18.5	21.1
アパートやドヤ等で生活保護を受けた	88	14.7	16.7
その他	114	19.0	21.7
有効回答数	600	100.0	114.1
有効回答者数	526	24.3	
無回答	2	0.1	
非該当	1,635	75.6	
合計	2,163	100.0	

※回答％は有効回答数に占める割合、ケース％は有効回答者数に占める割合

次に、これまでに何らかの支援を受けたことの有無については表３２でまとめている。「ある」が 1,577 人（72.9%）、「ない」が 583 人（27.0%）となっている。

表３２　路上（野宿）生活をしてからこれまでに、何らかの支援を受けたことがありますか。

（複数回答）	件数	回答％	ケース％
ある			
炊き出し	988	30.1	62.7
衣類や毛布の配布	891	27.2	56.5
福祉や医療相談	326	9.9	20.7
カップ麺や乾パン、パン券などをもらった	697	21.3	44.2
臨時施設（宿泊券をもらった）	142	4.3	9.0
その他	233	7.1	14.8
有効回答数	3,277	100.0	207.9
有効回答者数	1,576	72.9	
ある（無回答）	1	0.0	
ない	583	27.0	
無回答	3	0.1	
合計	2,163	100.0	

また、その支援について何らかの役に立ったかを尋ねたものが表３３である。「役に立ったと思う」が 1,449 人（92.8%）と全体の約９割となっている。

表３３　問３３　その支援は何らかの役に立ったと思いますか。

	人数	%	有効%
役に立ったと思う	1,449	67.0	92.8
役に立たなかったと思う	62	2.9	4.0
わからない	51	2.4	3.3
有効回答数	1,562	72.2	100.0
無回答	7	0.3	
非該当	594	27.5	
合計	2,163	100.0	